

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 22 日

事業所名 障害児通所支援事業所ちゅらハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		午前中の訓練のみなので、静かで集中した訓練が出来る	
	2	職員の配置数は適切である	5		送迎、訓練対応と午前中余裕を持ち配置出来ている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		5	バリアフリーに関しては、建物の構造上厳しいが、利用児には職員が個別で付き対応している	建物の構造上、段差等修繕箇所はあるが対象児には配慮し介助している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		集中して訓練に取り組めるような配置にて訓練を行う	訓練終了後は、別室で過ごせるように配慮出来ている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		活動には目標と振り返りを行う事で良い支援に繋がっている。	訓練担当専門講師との、訓練前後の打ち合わせ、振り返りを確実に行う
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		評価表での課題は職員で共通認識し改善につなげている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		改善箇所を職員と共有している	自己評価の結果及び保護者向け評価表はホームページで公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	第三者委員へは、結果のみの報告になっている	外部評価の行い方を事業所で話し合い今後どのような形で行うか？検討していく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		職場内研修は月1回行っている外部研修の報告は職員会議で行い共有している	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		新規は申し込むときに、継続は年度末にアセスメントを記入してもらい、客観的に分析し職員と様子、状況を確認し計画を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		事業所独自のアセスメントを作成し使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		動作法を通し、個別支援作成を行う	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		個別記録の欄に目標がいつでも担当記録者の目に入るようにしている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		担当を中心に、全職員で話し合い行う	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		5	外部専門講師によるプログラムがあり、固定になってしまう	専門による訓練なので、固定化になってしまい受け入れ人数にも制限が出てしまう。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		プログラムに添った活動では個人合わせた支援方法で対応している		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		全職員が出勤する時間に合わせミーティングを行って確認と共有を行う	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		終了後は、一部の職員でカンファレンスを行い、支援の気付いたことを共有している	シフトの関係上、翌日の始業前のミーティングで全職員で振り返りも含め行い、共有を図っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		記録は、常に行い振り返りや今後の支援に繋げる	記録の書き方については、全職員で研修を行い共有している
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的担当者会議やモニタリングで見直している	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		管理者やサビ管が行い職員に報告し共有している	記録をとり、全職員で共有を図っている
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2		関係機関との連携、会議等への参加を行う
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医療児は受け入れしていない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				医療児は受け入れしていない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	保護者の了解を得て情報を提供、共有できるようにしている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		保護者の了解を得て情報を提供、共有できるようにしている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		研修への参加を行う	コロナ禍のためリモート等で行っている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5		学童クラブの子ども達との交流を行う	長期休みなど計画していたがコロナ禍のため中止となる
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		今年度は参加出来ていない
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		連絡帳や送迎の際に保護者の方とは状況等伝え合っている。動作訓練では担当より助言を行っている	ラインや電話の活用も行う
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		5		次年度に向けて検討する	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		申し込みの際や変更時に紙面にて説明を行っている。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		面談にて行う		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		定期的な面談の時に助言や支援を行っている、	保護者からの相談へは適宜応じている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		保護者会や親子行事を年数回計画している、コロナ禍のため中止した
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		保護者の要望、相談ができやすい関係性を築いている。相談があった場合は適切に対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		月1回お便りを配布している。毎日のブログを作成し子ども達の様子を発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		職員には会議の都度徹底している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			その子に応じた、保護者い応じて行う
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		施設交流やハロウィン行列等地域で計画していたがコロナ禍のため中止や計画変更をした
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		オリエンテーションや申し込みの際にしおりを配布し説明周知している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		月1回不審者、火災、地震の順に訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		モニタリングで保護者に確認済み(新年度に必ず行う)	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		今年度は対象児なし	対象児がいる場合は、全職員と共有を行い対応していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		研修と、その都度全職員での共有を行う	年度末には、1年間の振り返りを全職員で行い、次年度に向け対応等話し合い
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		職場内研修で虐待の研修を行い対応、対策している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		保護者には身体束縛に対して対応方法等説明し了解を得て、個別計画書に記載している	今年度は該当児無し

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 22 日

事業所名 障害児通所支援事業所ちゅらハウズ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			部屋の増築で、個別支援に対応できている	
	2 職員の配置数は適切である		5			障害の程度に応じた支援の充実を図るためには、支援員増を図る(募集はかけている)
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			5	事業所の構造上、バリアフリー化は現段階厳しいが、児童には職員がついて対応している	玄関等改善場所はあるが対象児には配慮し介助している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			活動時には振り返りを行う事で良い支援に繋がっている。	全職員参加のもと、行っている
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			評価表での課題は職員で共通認識して、業務改善につなげている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				自己評価の結果をホームページで公開している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		第三者委員には、報告を行う	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			職場内研修は月1回行っている。外部研修の報告は職員会議等で行い向上につなげている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			保護者、関係機関との連携を図りながら、全職員共有の基作成を行っている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			新規は申し込むときに、継続は年度末にアセスメントを記入してもらい、客観的に分析し職員と様子、状況を確認している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5			担当を中心に、全職員で行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している		4	1	専門講師配置で固定されるプログラムはあるが一部の活動は固定曜日以外でも行うようにしている。	職員増が図られれば臨機応変に活動ができる
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			長期休みは日頃できない事を計画し楽しみと充実感を持たせている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			プログラムに添った活動では個人に合わせた支援方法で対応している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			毎日ミーティング時間を設け共有確認している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			勤務時間の関係で、終了後全職員での振り返りが難しいので、翌営業前に、全職員で振り返りを行い共有を図る。	業務終了時には、正規職員でその日の支援についての話しあいを行い、翌日の全職員参加振り返りで、共有を図る
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			年度初めには、記録の書き方の研修を行い全職員共有の基、行う	記録を基に、支援効果や改善等全職員で共有を行う	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			定期的に担当者会議やモニタリングで見直している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5			色々な活動(プログラム)を計画し支援している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			管理者、児童発達支援管理責任者が行い、職員に報告共有している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			保護者に直接連絡し確認、担当者会議、又は学校送迎の際に担任と情報共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					医療児の受け入れはしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			新規での申し込みや定期に関係機関との情報共有や支援内容等を共有している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					学校卒業対象児はいない(小学校5年生まで)が保護者の了解を得て情報を提供できる様にしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			研修会への参加を行う	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5			学童クラブ併設の為、交流は常に行う	児童館、子どもセンターとの交流を定期的に行う
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3	2	コロナ禍のため今年度は参加できていない	次年度は参加を行う
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			連絡帳やライン、送迎の際に保護者とは状況等伝え合っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	3	職員研修の際に保護者の方にも参加できる内容等は計画している。	職員の研修を行い、取り入れたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			申し込みの際や変更時には紙面にて保護者に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			保護者との連携を図り、話やすい雰囲気や気を付けながら傾聴の姿勢で臨む	保護者との信頼関係を大切におこなう
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		保護者会や親子行事を年数回計画していたが、1回のみ実現	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			保護者の要望、相談ができやすい関係性を築いている。苦情箱(意見箱)を設置している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			月1回お便りを配布し周知している。毎日ブログを作成し子ども達の様子を発信している	

非常時等の対応	35	個人情報に十分注意している	5		年度初めには修会を設け、又常時職員会議の時に全職員で共有を図り、その都度徹底している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		ライン、電話等にてその子に応じて、保護者に応じて対応している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		施設交流やハロウィン行列等計画していたがコロナ禍のため中止や計画変更をした
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		オリエンテーションや申し込みの際にしおりで説明周知している。	職員に対しては、研修会で全職員にて共有を行う(毎年行っている)
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		月1回火災、地震、不審者訓練と交互に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		職場内研修で虐待の研修を行い対応、対策している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		保護者には身体束縛に対して対応方法等説明し了解を得て、個別計画書に記載するようにしているが、今年度は該当児なし。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		全職員が確認できるように、掲示し共有を行い対応している		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		研修と、その都度全職員での共有を徹底して行う	年度末には、1年間の振り返りを全職員で行い、次年度に向け対応を話し合う場を設けている	